

インカム導入の背景～成果まで

もう、無かった頃には 戻れない

特別養護老人ホーム榎塚荘 福井 みのり

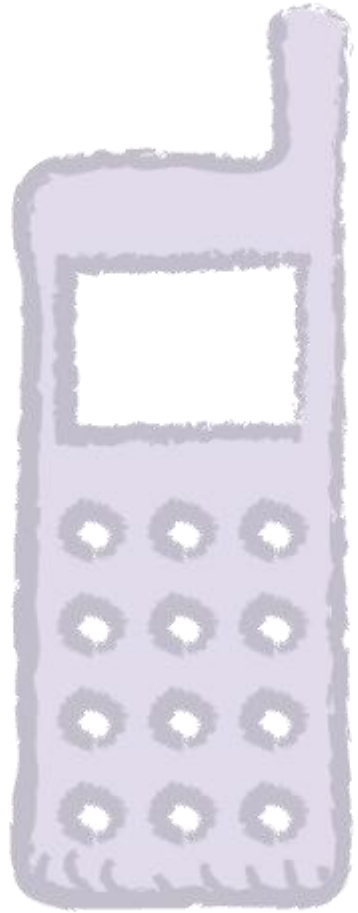
目次

- インカムが無かった頃の榎塚荘
 - 導入にあたって考えたこと（施設長より）
 - 使用し始めて気づいた困り事
 - インカムが入ってからの榎塚荘（成果や効果）
 - 今後のこと（改善していきたいこと）
- 

インカムが無かった頃の榎塚荘

主な連絡手段はP H S と固定電話の内線

6つのフロアに1台ずつ
医務室と事務所と浴室にも1台ずつ有り、
P H S は離床センサーとナースコールに
反応する。
ポケットに入れていたのでよくトイレに
水没させた。
故障の度に番号が変わるので、覚えられ
ずに使いづらかった。



インカムが無かった頃の榎塚荘（つづき）

主な連絡手段はP H S と固定電話の内線

例えば・・・

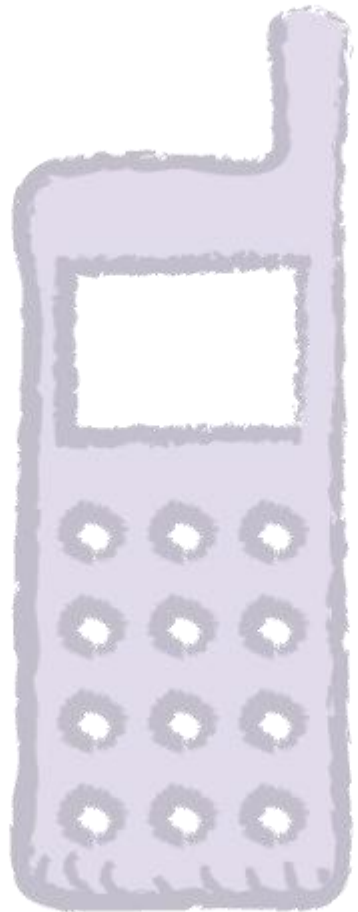
「4階のAさんをお風呂に連れてきて
欲しいけど、体調はどうかなあ」

4階のP H S を鳴らす・・・出ない

4階の内線を鳴らす・・・出た人が体調に
ついてわからない

仕方がないので4階に迎えに行くと、
午前中に熱発したので入浴は中止。。。。

非効率



導入にあたって考えたこと



W i - F i インカム



無線機

導入にあたって考えたこと



ブルートゥース イヤフォン



有線タイプのイヤフォン

導入にあたって考えたこと



台数は16台でスタート

インカムを使用し始めて、1年後の振り返り



インカム向き不向き？

冷たく聞こえる応答

言葉のカベ

イヤフォンの断線

コードが引っ掛かる

インカムを使用し始めて、1年後の振り返り



インカム向き不向き？

冷たく聞こえる応答

言葉のかべ

イヤフォンの断線

コードが引っ掛かる

そして、10台増やしました！！

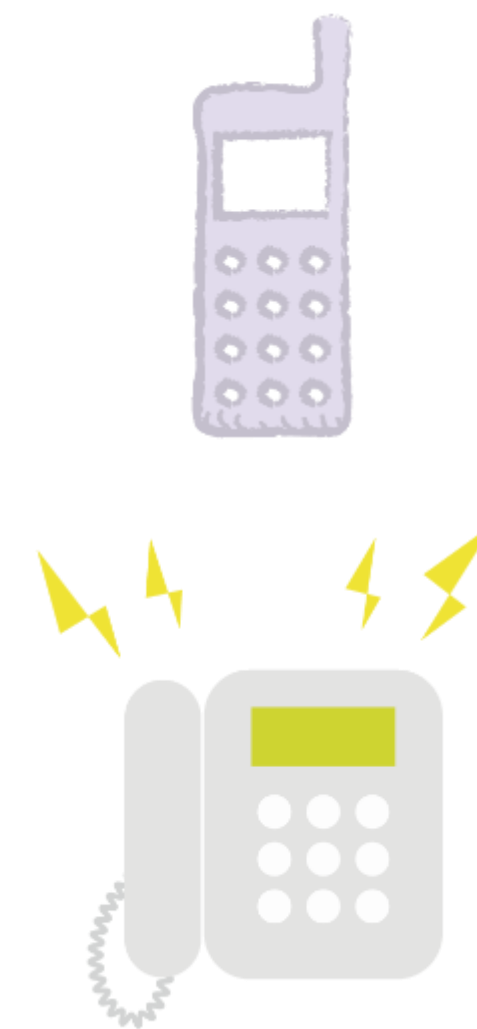
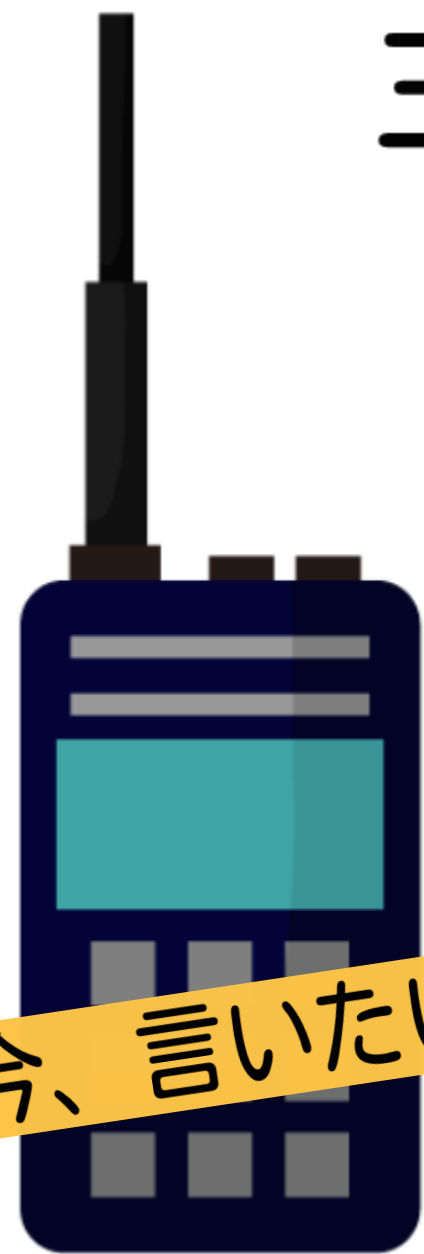


インカムが入ってからの槇塚荘（成果や効果）

主な連絡手段は 断然インカム

P H Sで他フロアにかけることは無い。
内線を使うことも激減。
ビックリするくらい、館内放送も減った。
ご家族の面会時、心の準備ができる。
感染症の隔離対応でも大活躍。
台風で停電になった時にも安定の連携。

今、言いたい！



新人職員の

『

今、言いたい！

』

ベスト3

ナース、〇〇さんの食事量が
1割なんです、お薬飲んでも
いいですか？

どなたか、食事介助のヘルプ
に來れますか？

〇〇さんの抵抗が強いんです
けど、パッド交換のヘルプに
來ていただけますか？

榎塚荘の

『

今、言いたい！

』

ベスト3

お風呂場ですー！〇〇ちゃんを
迎えにいきますので、お声
かけといてください。

ナース、〇〇さん今、
トイレにおられるんですけど、
浣腸してほしいって
おっしゃってますー！

今、〇〇ちゃんお風呂に
行きたいっておっしゃってますー！

導入効果の分析

効率化

非常災害時

外出イベントに使用

サービスの質の向上

職員の精神的負担の軽減



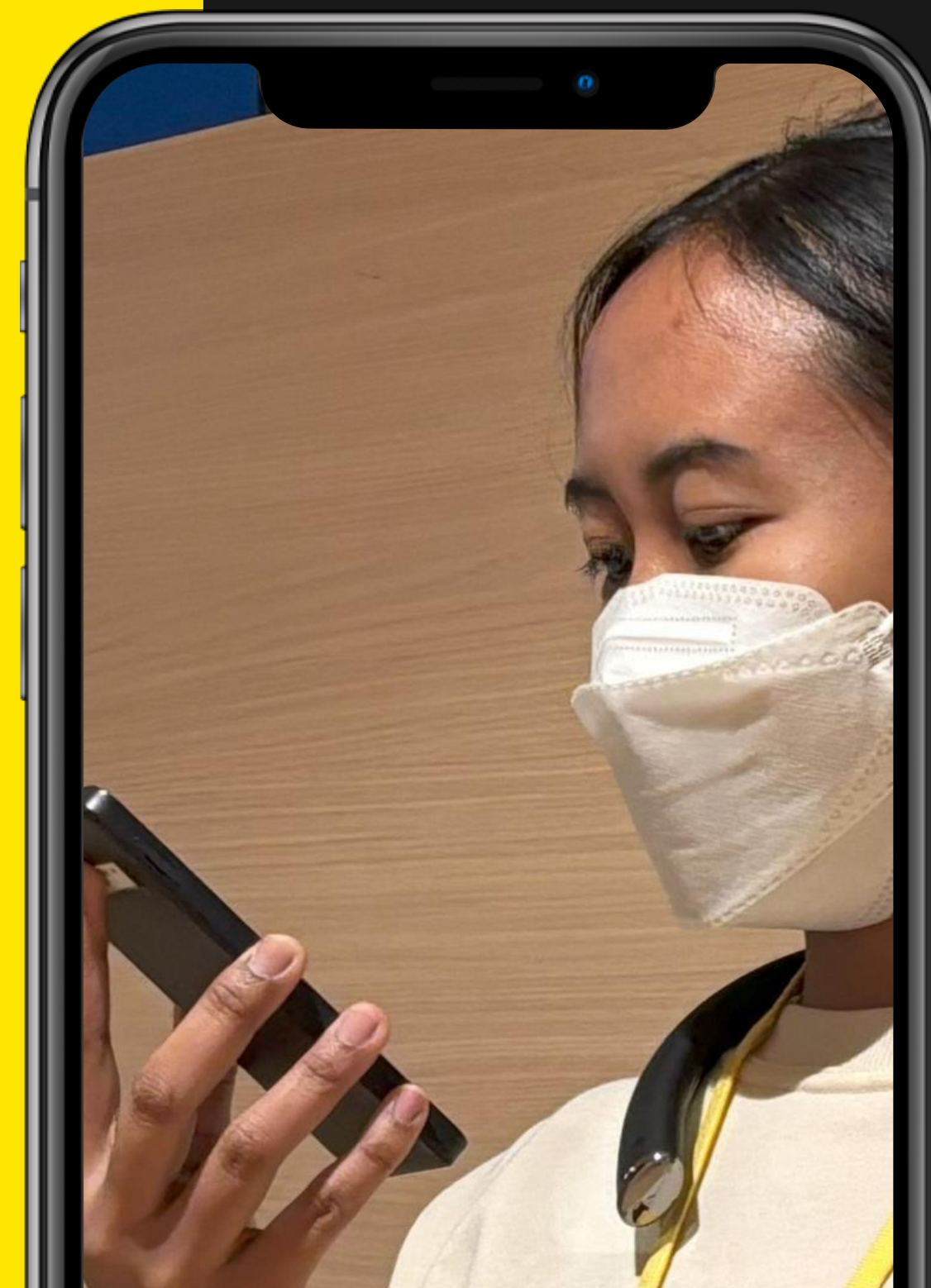
ご清聴ありがとうございました



大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 白島荘
介護主任 長谷川一平

夜間に安心を生む 見守り機器とインカム

→ インカムアプリ「Buddycom」
見守り機器「眠りスキャン」



インカムアプリ 「Buddycom」



スマートフォンアプリで一斉通話可能

音声のやり取りだけでなく、通話履歴の音声録音、テキストや定型文送信が可能。やり取りをチャット記録で確認可能





見守り ベッドセンサー 「眠りSCAN」

入眠、起床、覚醒、離床まで

入居者の生活リズムを把握
一人一人の個別ケアを根拠を持ったケアへ
ユニットケア向上の要として機能

Buddycom 夜間の安心へ

PC、眠りスキンの連系
による入眠時の見守り



日々の入眠観察や体調不良者、
ターミナルケアの見守りを充実

夜勤中の情報を一斉に
共有



10ユニットの状況や急変時の対応、
応援の要請や指示など一斉に共有す
ることが可能

ユニット間のフォロー
要請



個別、全体通話による他ユニットへ
の応援要請可能
ネックスピーカーで介助しながらの
通話で迅速に対応



Buddycom、眠りスキャン 導入前

リーダーが各ユニットを訪問して全体
状況把握が必要
緊急時の連絡はPHSを使用し、役割の
分担や周知に時間を要した

巡視を一時間おきに訪室にて行ってお
り、業務を圧迫していた

Buddycom、眠りスキャン 導入後

細かい情報なども即時全体共有可能。急な
体調変化前から情報共有を行うため、事前
準備を含めた施設全体での対応が可能

眠りスキャンにて観察を行い、方室回数の
削減が実現。入居者サービスに安全、安心
の強化へ

導入の経緯



夜間のサービス向上に向けて

特養施設の重度化が進む中、2ユニット1人体制での対応状況が課題に
改善のための取り組みとして導入を開始

ターミナルケア、夜間周辺症状へのケア、緊急時対応など入居者サービスの向上、職員の業務改善に向けて

ICT機器導入の流れ



スマートフォン、眠りスキャン、Buddycom

2021年

スマートフォン
Buddycom
25台
眠りスキャン
20台

2ユニットでの試験導入を開始

2022年

導入機器テスト期間
効果の実感、効果測定と今後の導入について検討

2023年

眠りスキャン
80台追加導入
施設全ユニットに対応開始
ユニットケア施設としてサービス向上へ

2024年

スマートフォン
Buddycom
20台追加導入
ネックスピーカー
45台導入
生産性の向上とさらなる入居者への取り組み

2025年～

これまでの取り組みを集約し、新たなサービスの提供へ向けて

その他使用状況(Buddycom、スマートフォン)



各部署間の連絡がスムーズに

医療処置や家族面会、電話等対象職員への連絡に手間取ることなく素早く取次が可能
業務効率UPに

SNS、ブログへのアクセスが簡潔に

現在、家族にとってブログ、SNSは入居者様の日常を知る重要なツール
日常生活をすぐに写真に収め、投稿することで投稿頻度の増加、自然な日常を掲載し、信頼の獲得へ

正確な記録物としての役割

患部処置の記録や外傷、皮膚状態などの観察に
主観ではない記録物として容易に保存可能
短期入所居室セッティングや様々な個別対応等、正確な伝達が必要な場合
の動画共有が可能

当初目的外の大きな役割へ

眠りスキャン、Buddycomだけでは
ない大きな役割

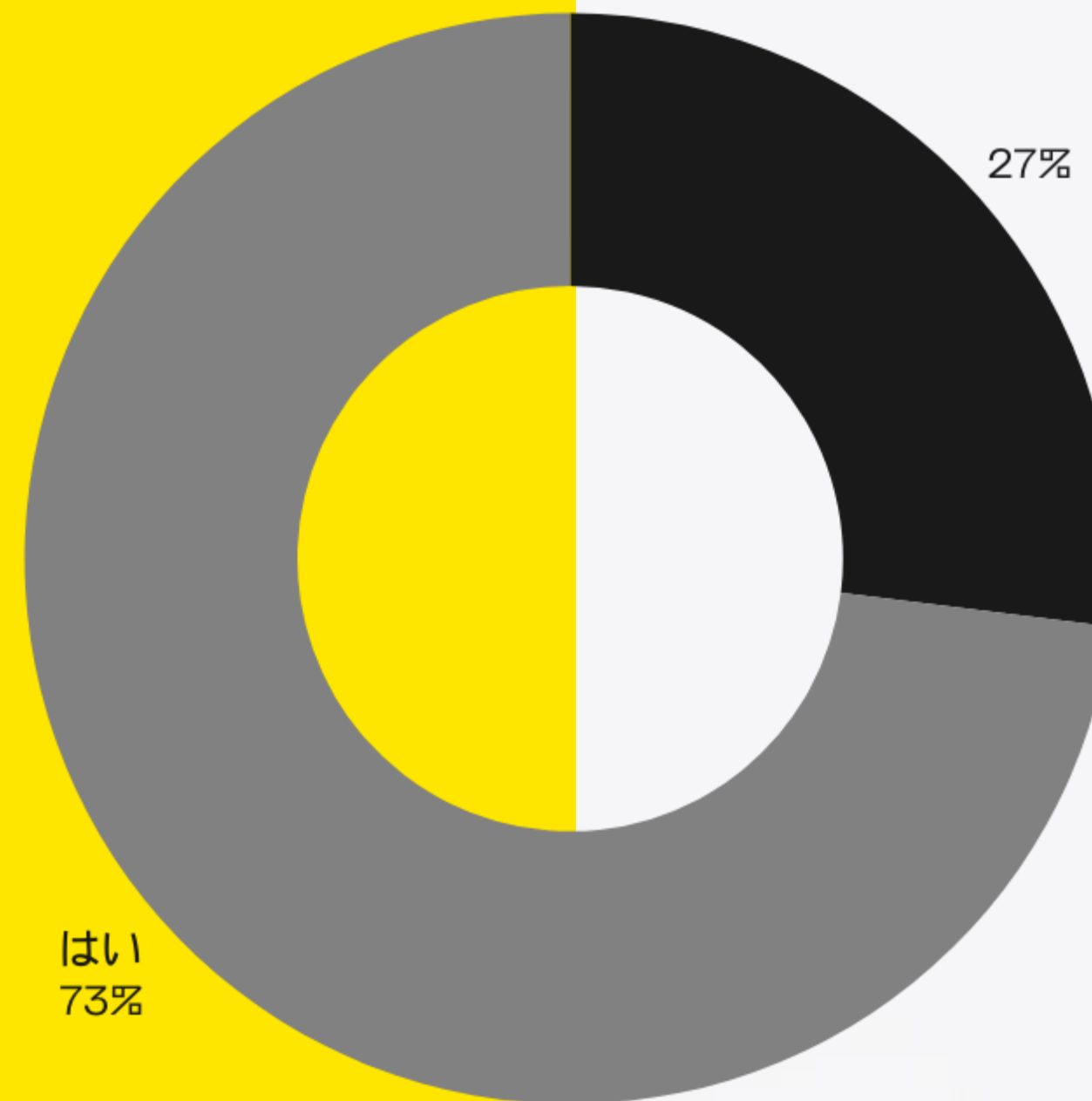


生産性向上の 取り組み

ノーリフトケアとの共生、ユニットケアの
質向上へ

事業計画として推進しているノーリフトケアにおいて、業務改善の相乗効果を発揮
生産性向上推進体制加算にける業務改善に対しての
無くてはならないツールとして存在

ICT機器の導入でやりがいは増えましたか？



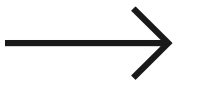
2024年 生産性向上担当職員へアンケート

全ては入居者サービス向上のために

取り組みの目的すべては介護サービスの質向上、入居者への安全、安心な介護施設へ向けて



今後の導入機器との連携について



ナースコースシステム
V-nurse

スマートフォンとの連携を行い、
PHSと一体化
見守り機器との連携をより強化



AIカメラ
Voxela

見守りだけでなく転倒予測など学習
知能を備えたカメラ
重度化する入居者の生活を支える



スタンディングリフト
スカイリフトiR SL-2023

入居者負担の軽減とノーリフトケア
の推進
安定したサービス提供の強化へ

白島荘のこれからについて 生産性向上その先へ

01

生産性のさらなる向上へ

これからの福祉を取り巻く社会情勢の変化に対して、チームとして取り組む組織の形成

導入した機器で部署間の協力をより強固に
チーム力の向上へ

02

地域とともに

生産性を向上させ地域への取り組みに一層の貢献を
ヤングケアラー、子供へのイベントを充実

子供同士、入居者が「教育、休む、健康」それぞれに出会える取り組み
困ったときに頼れる「はくしまさん」として地域に根付く取り組み

03

施設サービスを次のステップへ向けて

地域公益事業の拡充と、入居者サービスにおけるケアプランの個別化を推進

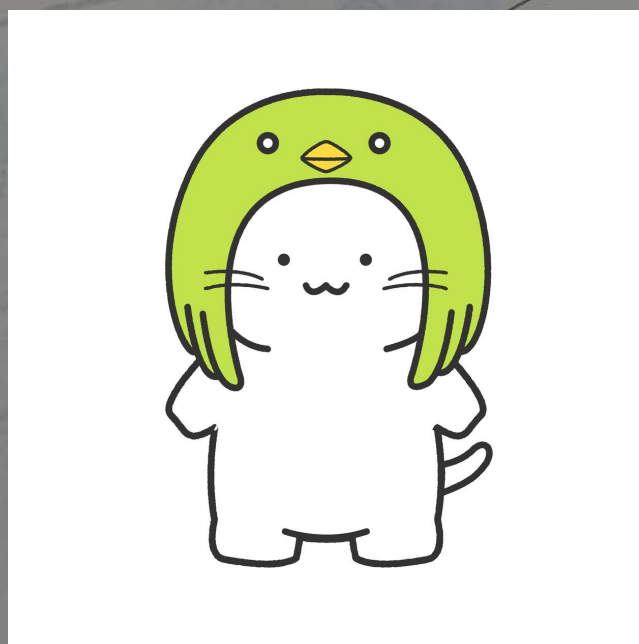
夢をかなえる取り組みを施設の計画として実行



ご清聴ありがとうございました

特別養護老人ホーム 白島荘

白島荘から



大阪府社会福祉事業団イメージキャラクター
はあとにゃん